



J R 連合 NEWS

J R 産業に集う
すべての仲間の
J R 連合への
総結集を!!

2023 年度

No. 23

2023年9月13日

日本鉄道労働組合連合会

2023 平和行動 i n 根室に参画

北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）の返還！ 日ロ平和条約の締結を！

連合は9月9日から10日にかけて「2023平和行動 i n 根室」を根室市内で開催した。参加者は北方領土問題の歴史や現状を学ぶとともに、北方領土の返還を内外に強く訴える2023平和ノサップ集会には863名の仲間が結集した。

連合は、結成当初から運動の大きな柱の1つとして平和運動に取り組んでおり、6月の沖縄、8月の広島・長崎の運動のほか、終戦後に旧ソ連・ロシアに不法占拠・実効支配された北方領土の返還を求める根室での行動を9月に開催している。



2023平和行動 i n 根室は、9月9日に北方四島学習会、同10日に2023平和ノサップ集会が開催され、J R 連合からは政所大祐事務局長、住吉一家労働政策局長、中村鉄平 J R 四国労組書記長、人見圭一 J R 北労組書記長、J R 北労組の青年2名が参加した。



北方四島学習会では、「歴史から見たロシアのウクライナ侵略と北方領土問題」「北方四島の自然と諸問題」と題する講演を受けた。

納沙布岬・望郷の岬公園で開催された2023平和ノサップ集会には、863名の仲間が結集した。主

催者を代表してあいさつした清水秀行連合事務局長は、「元島民の方々の事を思うと残された時間は決して長くはなく、北方四島の早期一括返還と日ロ平和条約の締結による真の平和の実現に向けて粘り強く取り組んでいく」と決意を明らかにした。また、来賓には北海道北方領土対策根室地域本部長、根室市長らが出席し、それぞれから感謝の言葉が述べられたほか、継続的に取り組まれてきた平和行動に対する期待の言葉も寄せられた。択捉島出身の元島民からは、故郷を思う切実な願いが訴えられた。

最後に、「北方領土問題が解決するその日まで、粘り強く運動を継続していく」ことを力強く宣言した集会アピールを採択し、参加者全員の決意が込められたガンバロウ三唱で2023平和行動 i n 根室は幕を閉じた。

